

視点

超少子化と保育・教育施設

阿藤 誠



昨年は出生率も出生数もやや回復し、いよいよ出生率反騰の始まりかと思わせましたが、残念ながら今年はまだ減少気味で、少子化状況はそう容易に改善しそうもありません。

すでによく知られているように、少子化は日本だけのことではなく先進国全般に共通する現象ですが、旧西側先進国に限ってみると日本の出生率は今や最低となっています。

先進諸国に共通する少子化の直接的原因は「出産の先送り革命」と言われるもので、若い世代ほど結婚・出産を高い年齢に先送りする傾向が強まっています。しかしながら興味深い事実、先進国のなかでもフランス、スウェーデン、オランダなどの「緩少子化国（合計特殊出生率が一・六以上）」では、二十代で子どもを産まなかった人々が三十代で産む傾向が強まり、それが近年の出生

率の回復につながったことです。それに対し日本やイタリア、ドイツなどの「超少子化国（合計特殊出生率が一・四以下）」では、二十代で結婚・出産をしなかった人々がそのままた三十代でも結婚・出産をせず、そのことが出生率の長期の低迷につながっています。

日本など超少子化国とフランスなど緩少子化国との違いはどこから来るのでしょうか。出産の先送り革命の背景は色々考えられますが、中心は何ととっても女性の社会進出です。先進諸国では、豊かさを背景にして女性の高学歴化が起こり、情報化、サービス経済化、雇用の男女差別撤廃などを通じて女性の雇用機会が拡がりました。これに男女平等主義の価値観の浸透が加わり、先進諸国全体で結婚・出産の先送りが起こりました。

このような女性の社会進出の広がりに対して、フランスなど緩少子化国では、性役割に関する見直しが進み、男女ともに仕事と子育てに関わるのが当たり前という考え方が拡がり、社会全体として仕事と子育てを両立させるための環境変化が起こりました。それによってキャリア形成

後の三十代女性の出生率上昇が可能となったとみることができそうです。ところが日本など超少子化国では、性役割に関する伝統的考え方が強く、仕事と子育てを両立させるための社会環境の変化が遅れました。そのため日本などでは未婚化が非婚化につながり、三十代女性の出生率の上昇が起こらず、超少子化状況が続いているとみることができます。仕事と育児の両立を容易にする社会環境変化は企業、家族、地域社会、家族・労働政策のすべてに関わ

りますが、なかでも保育サービスの充実度は、緩少子化国と超少子化国を分かつ重要なメルクマールとなっています。スウェーデンではすべての自治体が（幼児教育を含む）保育需要を一〇〇%満たすことが義務づけられており、フランスは国の補助により保育ママが大変利用しやすくなっているのに対し、ドイツ、イタリアは保育施設が乏しく、働く母親が利用しにくい幼稚園が中心です。

日本は、今後本格的な労働力不足時代に入り、女子労働への需要が一段と強まり、働く母親が一般化することは不可避と見られています。日本ではこれまで保育所と幼稚園が保育と教育という別々の機能を果たすものとして発達してきた経緯があり、幼保一元化はいまだ緒に就いたばかりです。しかしながら、少子化の克服と男女共同参画社会の到来を見据えるならば、ワークライフバランスの実現と並んで、保育と教育を兼ね備えた質の高い施設が社会全体として十分に提供される体制に変っていくことが望まれます。

（早稲田大学人間科学学術院特任教授）

記念講演 「10年目の見直し～幼稚園教育の基本とは」

講師 小川 博久 聖徳大学文学部児童学科教授（大学院担当）



小川 博久
聖徳大学
文学部

去る八月二十七日、二十八日の両日、東京・私学会館で、（財）全日私幼研究機構の「平成十九年度10年経験者研修会」が開催されました。研修会では、小川博久聖徳大学文学部児童学科教授（大学院担当）をお迎えして、記念講演を行いました。同講演の概要をお知らせいたします。

この十年でいろいろな世の中の変化が起きています。その中で幼稚園教育要領に対する期待も大きく変わり、教育要領の改訂で、生涯にわたる学びの基本としての幼児期の教育である「遊んで学ぶ」ことが強調されました。

改訂の視点の一つは、幼稚園教育要領を義務教育につながる重要な基礎としたことです。その中で問題なのは、学力中心の今の学校教育の中で、いわゆる学力テストによる一つ

の評価だけで子どもの学力が序列化されるという傾向がはっきり出ていることです。子どもは本来多面的な能力を持ち、それが、さまざまな方向から評価される必要があります。

もう一つ、子どもたちが社会規範を身につけ、集団生活を楽しむという柱を立てています。幼児期には、さまざまなぶつかり合いや葛藤を通して、人とかわる力や道徳性の芽

幼稚園教育の大切な

キーワード「あそび」

小学校になれば子どもたちを集めて号令で子どもを動かすことも可能ですが、低学年で学級崩壊が起こっている一部の現状を考えると、集団の中で、自分を大切にしながらそれぞれの自己発揮を調整し子ども同士とのつながりを大切にすることがあるということです。

幼稚園教育要領ではあそびが大事なという原則を打ち出しています。

生えを身につけます。個々の育ちの違いと集団性の秩序というものはいろいろな矛盾を抱えています。幼児期の教育の重要性が際立つ場面です。

幼児期における相互関係というものは、例えば先生が手あそびをやる、子どもたちがのつてくる、先生と子どもとの間に応答的な関係ができあがる。同時に子ども同士にもリズムの共有がある。このような横のつながり、縦のつながり、相互の応答関係が幼児教育ではとても大事です。

それを総称して私は「あそび」と呼んでいます。幼児期から順番に積



み上げていくことが大切で、こういうことを幼児期から大切にしていかないと、その後に続く小学校教育に大きな問題を残すこととなります。

また、これまでの男女共同参画社会の実現にむけた政策では、男女それぞれの働きを応援し尊重する観点から、厚生労働省と文部科学省が一緒に子育てへの支援を実施してきましたが、地方財政の困窮もあり、いまひとつ実効ある施策が実現していません。結果的には少子化にもストップがかかっています。子どもの数が減っている公立幼稚園を幼保一元化で保育所に委託し、なおかつ、民営化という方向で動いています。

今までは公立幼稚園、私立幼稚園



は教育的機関であるという建前がありました。子どもを早く預かってくれるほうがいいとなると、保育所

私立幼稚園の存在意義は 幼児教育の質の高さに

そういう中で、私立幼稚園はいつたいていやってこれから自らの存在意義を作っていくか、という緊急な課題があると私は認識しています。幼稚園が幼稚園であることの特徴は、まさに教育的であるということです。日本の幼稚園教育をこれから皆さんが支えていくためには幼児教育の質をどのようにみんなで確保するかが大事です。

いま、社会は競争原理で、私立幼稚園も自由競争です。しかし、自由競争の中で各園が子どもを奪い合っている間に子どもたちが保育所に行ってしまう。幼稚園教育の質の高さが実は問われているのです。

子どもの要求こそ 真の保育のニーズ

近年「保育のニーズの多様化」ということが言われていますが、保育のニーズは多様ではありません。保

の方が有利ということ、どんどん保育所に移っていく傾向が増えるかもしれない。

育のニーズというのは、幼児が何を要求するかということが大事なポイントです。子どものニーズに答えるのが保育のニーズです。子どもの要求に答えるのが保育なのです。母親が働きたい、夜間保育をしてほしいというのは子どもの要求ではなくておとなの要求です。

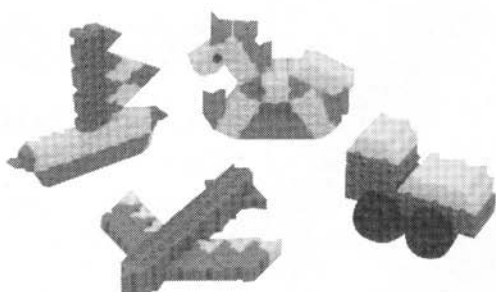
おとなの要求によって子育ての仕方が決定的に変わるということはありません。赤ちゃんや子どもの基本的な要求は決まっているのです。それは普遍です。

幼稚園教育も保育も、保育の基本的な要求というものをまず確定することから我われ専門家は考えなければなりません。我われが「保育のニーズの多様化」と言ってしまうとおとなの要求に全部従う論理になってしまいます。

親たちのいろいろな要求に対して、ここまでは譲れるけどここは譲

モルファンブロック

HDF0510 ¥35,700税込 (¥34,000税別)
□サイズ: 収納ケース/幅48×奥行34×高さ35cm
□材質: ポリプロピレン
□内容: 6色7種・計600ピース入り/収納ケース付き
□上下・左右・斜めに自由につなげるブロック!



手先の器用さ・創造力・
問題解決能力を開発します!

ジャクエツ

www.jakuetsu.co.jp

本社/0770-22-2200

東京本社/03-3323-1188

れない、ということを守るのが専門家の立場ではないでしょうか。

まねるじいじと子は育つ

子どもとのやりとりが大切

人間の子どもはお腹の中でお母さんの匂いや音や味覚を感じています。そして生まれてくると、お母さんのおっぱいの出方との応答関係が始まり、やがて母と子の応答関係が始まります。乳幼児期にはこの応答

関係が成立し、連続して持続される必要があります。歩くことも言葉をしゃべることも教授・学習では行なわれてはおらず、親の行動を見てまねるといのが子どもの成長の基本的なあり方です。

問題なのは、今の育児不安の中でそういう応答関係を親が失いつつある可能性があるということです。応答性の延長線上に保育があるということから、先生が一方的に教授するのではなく、常に先生と子どもの応答関係が保育の中で必要になります。

あそびのことを皆さんにお話ししたいと思うのですが、保育者の役割ということではある意味非常によ

くありません。あそびを教えるという魅力が伝わらないのです。お節介になってしまっているので、あそびはできるだけ見てまねさせるほうがいいのです。その方が、楽しさも伝わります。

子どものあそびを伝授する保育者の姿勢は、保育者が先頭に立ってモ

十月は体力づくり強調月間です

十月一日から十月三十一日まで

の一月間、関係府省、関係団体の協力による「体力づくり強調月間」が行なわれています。この運動を主唱している体力づくり国民会議では、国民の健康・体力の増進を図ることを目的として、昭和四十四年から毎年十月を「体力づくり強調月間」と定めています。

この期間中は関係省庁や関係団体等を中心に健康・体力づくりに関する諸行事や広報活動等が実施される予定です。

デルになる。子どもが同調してリズムをとるようになったら、あとは子どもに任せて、後ろからじっと見ていて、子どもができなかつたら援助に入る。あそびの援助者をやつて、子どもと応答する関係をぜひ作つて、自信を持って「私はやれるんだ」という子どもを育てていただきたい。そして、子ども同士の連帯、楽しさを作っていただきたいと思

ます。(文責・財研究研修委員・四ツ釜雅彦)

▼主唱/体力づくり国民会議(政府関係八府省、民間二百三十三団体)

▼標語/あせかいたいっばいわらたはらへった▼実施目標①子どもの体力向上のための施策の充実・強化②中高齢者に対する健康・体力づくり運動の推進③健康・体力づくりに対する意識の高揚及び日常生活への定着化の推進▼実施の重点事項①

広報啓発活動の強化②実践活動の定着化③地域組織活動の充実④職場における健康・体力づくりの推進⑤長寿社会への対応と青少年の健全育成

わかりやすい 仏教保育総論

新刊

■(社)日本仏教保育協会 編

■定価 1,890円

(本体1,800円+税5%)

■B5判 160頁

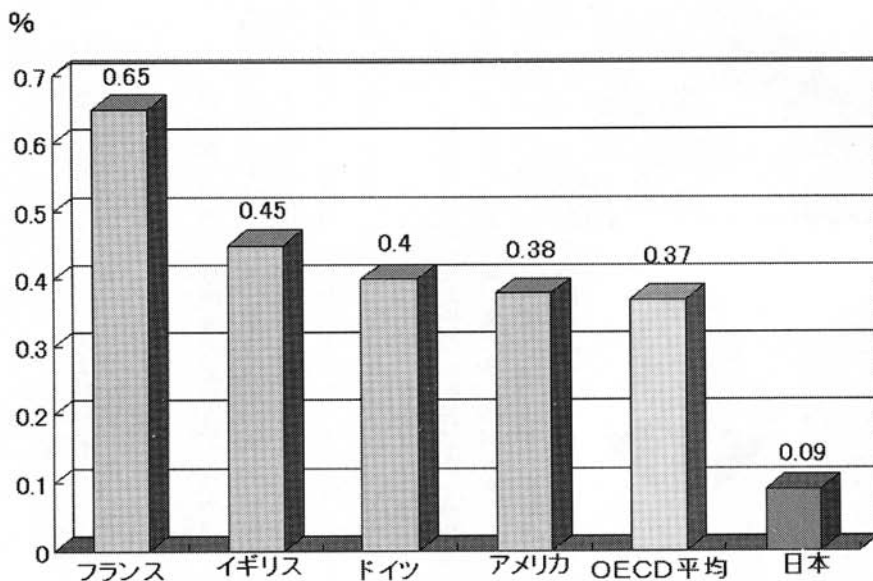
発行・発売 **チャイルド本社**

日本仏教保育協会の編集による仏教保育の新しいテキスト。仏教保育の基本理念や仏教行事・教材の解説、保育者のこころがまえまで、幼稚園・保育園で必要となる知識や技術をコンパクトにまとめました。日常の保育に関するQ&Aも収録。仏教園に、必携の1冊です。



就学前教育支出の国際比較(2002年)

1. 公財政教育支出の対GDP比

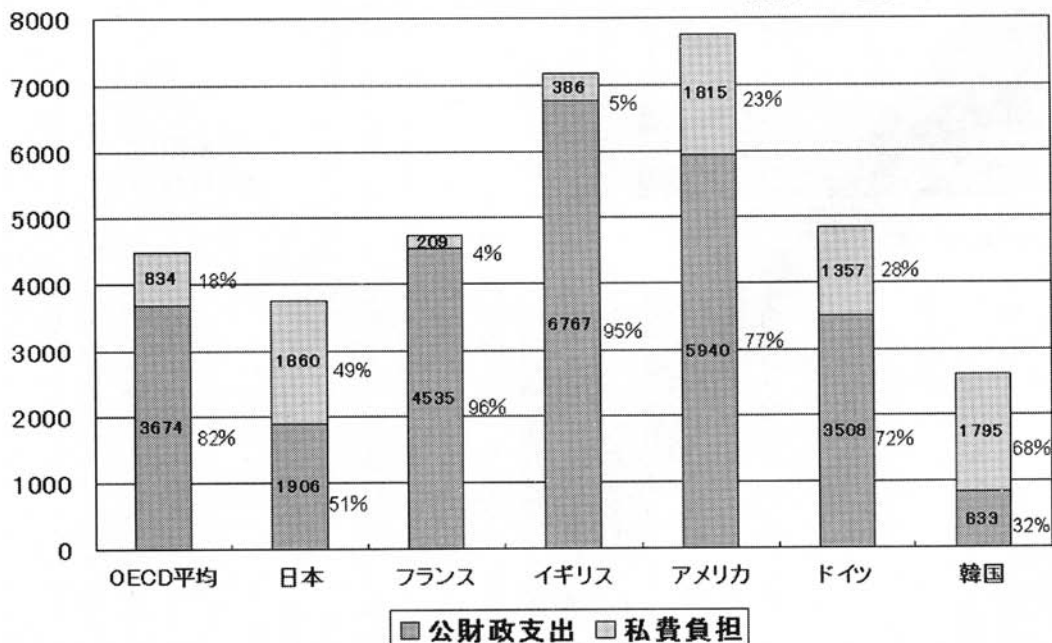


資料出典: OECD「図表でみる教育」(2005年版)

就学前教育(在学者一人当たり教育支出)

USドル

(資料) OECD 図表でみる教育(2006年版)



●第二十一回地方自治体対策協議会開かれる

田河 文部科学省、
稲山 総務省が講演
幼児教育課長 調整課長

香川県高松市
9月26・27日



九月二十六・二十七日の両日、香川県高松市の全日空ホテルクレメント高松において、第二十一回地方自治体対策協議会が開催され、各都道府県団体から団体長、政策担当者ら約百人が出席しました。

開会にあたって、清水博雅全日私幼連副会長、坪井久也香川県私立幼稚園連盟理事長からあいさつがあり、引き続き、真鍋武紀香川県知事、大西秀人高松市長から祝辞をいただきました。その後、政策委員会として本協議会の趣旨説明とともに、今後、各都道府県団体等において幼児教育振興アクションプログラムに基づき、振興計画の策定ならびに次世代法の後期行動計画策定への参画に向けて積極的に働きかけてい



田河慶太氏
文部科学省初等中等
教育局幼児教育課長



稲山博司氏
総務省自治財務局
調整課長



▲事例発表を行なった水谷豊三先生(右)と土居孝信先生(左)

ただきたいとの説明がありました。今回の協議会では、政策課題についての各都道府県団体からのご質問にできるだけお答えしていきたいという政策委員会の企画により、事前に各団体から多くの質問事項を提出いただきました。質問内容につきましては、田河慶太幼児教育課長の

講演部分において、対談・質疑応答形式でお答えいたしました。限られた時間の中での回答となりましたのですべてのご質問にお答えできない部分もありましたので、いくつかのご質問につきましては、政策委員会で検討をすすめてまいりたいと考えております。協議会の主な内容と講師の先生方は次のとおりです。

▼講演Ⅰ「最近の地方財政をめぐる諸課題」講師・稲山博司・総務省自治財政局調整課長▼講演Ⅱ「私立幼稚園を取り巻く現状と課題」講師・田河慶太・文部科学省初等中等教育局幼児教育課長、聞き手・藤本明弘全日私幼連政策委員長▼事例発表「都道府県・市町村における私立幼稚園振興計画の策定」①大阪府高槻市の事例・水谷豊三・大阪府私立幼稚園連盟総務委員長、②大分県の事例・土居孝信・大分県私立幼稚園連合会副会長

なお、田河幼児教育課長の講演の概要につきましては、本誌次号で紹介する予定です。

(全日私幼連政策委員長・藤本明弘)

一〇二条園代表者会議開かれる

東京

九月二十一日、東京・私学会館で平成十九年度・都道府県一〇二条園代表者会議が開催され、約七十人の先生方が出席しました。主な内容は次の通りです。

▼講演「今後の幼児教育の方向性について」講師・田河慶太・文部科学省初等中等教育局幼児教育課長

一〇二条園の根拠条文の「条ずれ」について

私幼時報六月号、FAX速報一三四月でお知らせしましたとおり、六月二十日、参議院本会議において、

●福田内閣発足

渡海紀三朗衆議院議員が文科相に

九月二十五日、福田康夫衆議院議員は、国会の首相指名を受けて第九十一代、五十八人目の首相に就任されました。翌二十六日には福田内閣が発足し、文部科学大臣には渡海紀三朗衆議院議員が就任されました。文部科学副大臣は、池坊保子衆議院議員、松浪健四郎衆議院議員が再任され、文部科学大臣政務官には、原田令嗣衆

議院議員、保坂武衆議院議員が再任されました。また、幼児教育議員連盟の先生方の中で、町村信孝衆議院議員が官房長官に就任され、甘利明衆議院議員が経済産業大臣に、高村正彦衆議院議員が外務大臣に、岸田文雄衆議院議員が沖繩・北方担当大臣に、上川陽子衆議院議員が少子化担当大臣に就任されました。

教育改革関連三法（学校教育法、教育職員免許法及び教育公務員特別法、地方教育行政の組織及び運営に関する法律）の改正法案が可決・成立しました。

今回の学校教育法の改正に伴い、同法附則第一〇二条第二項の規定が削除されるとともに、同条第一項の「私立の幼稚園は、第二条第一項の規定にかかわらず、当分の間、学校法人によって設置されることを要しない」という規定が、改正後の附則第六条に「条ずれ」しました。

なお、同法の施行は、公布の日（平成十九年六月二十七日）から六カ月以内の日で政令で定める日からとなっております。（全日私幼連一〇二条園対策委員長・白井勝）

●今後の会合日程

▼第二十三回設置者・園長全国研修大会／11月19・20日、愛知・ウエスティンナゴヤキヤッスル▼第二十二回PTA全国大会／11月28日、東京・グランドプリンスホテル赤坂（旧・赤坂プリンスホテル）▼(財)全国研究研修担当者会議／1月28・29日、京都・京都ガーデンパレス

たくさんの夢と感動が生まれる保育絵本

子どもたちの発達や保育のねらいに合わせてお選びください。

総合絵本

- キンダーブックじゅにあ 定価350円（税込）
- キンダーブック1 定価350円（税込）
- キンダーブック2 定価400円（税込）
- キンダーブック3 定価410円（税込）
- がくしゅうおおぞら 定価420円（税込）

おはなし絵本

- ころころえほん 定価350円（税込）
- キンダーメルヘン 定価350円（税込）
- キンダーおはなしえほん 定価350円（税込）

科学絵本

- しぜん—キンダーブック 定価460円（税込）
- 保育ナビブック
- Nocco 定価800円（税込）

フレーベル館

〒113-8611 東京都文京区本駒込6-14-9

http://www.froebel-kan.co.jp
TEL: (03)5395-6608 FAX: (03)5395-6626

国境を越えた子どもとの触れ合い

片岡 愛 青年海外協力隊



ホンジュラス

私は、中米にあるホンジュラスという国で幼稚園の巡回や、幼稚園教育に対する壁面装飾などの講習会を行なっています。ホンジュラスは太平洋と大西洋に面し、日本の三分の一くらい小さな国です。年間を通して温暖で、コーヒーやバナナの収穫が盛んです。

無料で行なわれている所が多いです。そのため私の所属するNGOや他の団体がおやつ、教材などを援助しています。

幼稚園は二月に始まり、十一月で終了します。土日休みで、その間、日本のように長期の休みはありません。公立と私立がありますが、保育費は地域によってさまざまで、私が住んでいるような農村部の幼稚園は

幼児教育は四歳児からの二年保育です。幼稚園教諭は全体の九八％が女性で、ホンジュラスでも女性の仕事というイメージが強いようです。しかし、幼稚園教諭の中で大学教育を受けた人は二五％しかおらず、十分な幼児教育に対する知識がなく、低いように思われます。

義務教育は小学校の六年間のみなので、幼稚園に入園を希望しても受け入れ態勢が不十分（定員制限があるなど）であるために入園が認められなかったり、家業の手伝いなど家庭環境により通うことができない子どもたちもいます。そして、幼稚園の多くは、一つの教室で一人の先生というスタイルです。園児数は多い

所で三十人、平均して十五人ぐらいです。しかし、首都や都市では年齢別クラスや、複数担任などもあります。



グローバル・ビュー
海外の幼児教育

また保育時間は、朝八時から十一時までです。しかし、ホンジュラスの人はなかなか時間を守らないので、九時頃にやっと園児がそろって一日が始まります。朝の集まりの後、歯磨きをしたり、つめのチェック



▲木の葉を集めて、こすり出しをした模様のバックです。世界で1つしかないバックにみんな大満足！

最後に、この仕事の充実感について触れます。この仕事をしていて、素敵に思うことはたくさんありますが、そのひとつに子どもと共に行事を祝うことができることです。日本同様、子どもの日、母の日、父の日、そのほかにホンジュラスでは「木の日」、「インディアの日（仮装を行なって楽しめます）」などがあります。嬉しそうに目をキラキラと輝かせて登園する子どもたちを見ると、「子どもたちの笑顔には国境がないのだな」と思います。

クをします。次に、毎月テーマがあり、それについて先生がお話をします。テーマは体、友達、食物、動物などです。その後、おやつ、休息、自由遊びがあり、一斉活動として塗り絵や広告をちぎって紙に貼るなどをして降園となります。製作はみんな同じ物を作ることが多く、先生がすべて下書きをしたり、色を決めてしまい、日本の子どもたちと違い、個性を発揮する機会が制限されるように思えます。そして、地域にもよりますが、走り回って遊ぶ環境がないので、保育のほとんどが教室の中になってしまいます。

私が見てきた環境では、物質的には満たされているとは思えません。そんな現場で今私ができることを考えると、手遊びなどを用いて物に頼

らない遊びを中心とした保育を紹介し、少しでも子どもたちの遊びの幅を広げることだと感じました。子どもの気持ちを大切に、優しい心、

文部科学省だより

平成十九年度幼稚園教育課程理解推進事業（中央協議会）

十三時～十五時三十分

★会場／独立行政法人国立青少年教育振興機構・国立オリンピック記念青少年総合センターカルチャー棟大ホール・東京都渋谷区代々木神園町三ー一、電話・〇三ー三四六七ー七二〇一（小田急線参宮橋駅下車徒歩約七分、東京メトロ千代田線代々木公園駅徒歩約十分、新宿駅又は渋谷駅より京王帝都バス代々木五丁目下車）

方法で氏名、所属（幼稚園名・大学名など）、連絡先を記入の上、文部科学省幼児教育課指導係あてにお申し込み下さい。その際必ず「平成十九年度幼稚園教育課程理解推進事業（中央協議会）全体参加希望」と明記してください。なお、複数人数を取りまとめて申し込みすることも可能ですが、その際も全員の氏名、所属及び代表者の連絡先を記入してください。十一月九日（金）締め切り。

文部科学省では、幼稚園教育の一層の振興・充実を図るため、幼稚園教育課程理解推進事業（中央協議会）を開催します。本協議会は各都道府県で実施している都道府県協議会に参加した幼稚園教諭や担当指導主事等を対象に、毎年十二月に二日間の日程で行っているものですが、一日目（十二月十一日（火））講演等の全体会を前記の対象以外の先生方にも公開いたしますので、関心のある方は下記を御覧の上是非ご参加ください。

【統一協議主題】

幼稚園において、幼児の生活経験がそれぞれ異なることを考慮して、幼児一人一人の特性に応じ、発達の課題に即した指導を行うためには、どのような工夫が必要か。

★日時／平成十九年十二月十一日（火）

★日程（予定）／▼受付十二時三十分～▼開会式十三時～▼講演「幼小連携について」小学校からみた幼稚園（仮題）十三時三十分～十五時講演予定者・奈須正裕・上智大学教授（敬称略）▼協議主題解説十五時～十五時三十分

★参加者申込／参加希望者は、ハガキ、FAX、電子メールいずれかの

申し込み人数が会場の収容定員を超える場合は、申し込み順の受付とし、参加不可能の場合は、申し込みの連絡先にお知らせします。

★お問い合わせ先／文部科学省初等中等教育局幼児教育課指導係、電話・〇三ー五二五三ー四一一（内線二三七六）、FAX・〇三ー一六七三ー四一三七三六
eメール yujji@mext.go.jp

（幼児教育課）

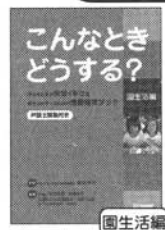
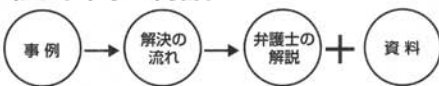
園経営で予想されるあらゆるリスクに対応し、お答えします

こんなときどうする？

子どもたちが安全で幸せな園生活をおくるための危機管理ブック

弁護士解説付き

わかりやすい内容！



セット定価：13,650円（本体13,000円）ケース入り 16-11223
 セット内容：〈園生活編〉B5判 328ページ / 〈労務編〉B5判 92ページ
 〈資料CD-ROM〉for Windows

◎お申し込みは貴園にお伺いしています小社特約代理店
 もしくは学研幼児教育事業部 03-3726-8711まで

学研

神奈川県からのおたより

県立設立六十周年に向かつて

充実の研究・研修活動



県花・ヤマユリ

神奈川県私立幼稚園連合会は、来年、設立六十周年を迎えます。研究部もこの六十年間、保育者の資質向上のための研究・研修活動を着実に積み重ねてきました。現在、県連研究部では、県下十二協会の研究、研修活動の支援をしながら、県連研究部独自の活動として研究特別委員会や統合保育研修会等を行なっています。その他に、教育課程理解推進事業等の対外的な研究・研修事業に協力しています。ここでは、今年度行なっている四つの研究特別委員会をご紹介します。研究特別委員会は、幼稚園教育に関する今日的な課題を取りあげ、調査研究することを目的としています。

- ①保育にも大きな影響が出てきている幼児の食事や睡眠の実態を探るための研究/A部会『子ども理解』
子どもの育ちを科学的視点から探る、(俯) A2・II・III・幼児の健康管理 ※(俯) II 俯瞰図番号
- ②保育の永遠のテーマである保育の読み取りを深めていくための研究/B部会『保育を読み取る』(俯) D1・発達の理解、D3・D4・特別支援教育
- ③幼小連携のあり方を探るための研究/C部会『幼小連携のあり方と幼児教育の科学性』(俯) F6・幼小の連携
- ④五歳児が幼稚園にいる意味の研究/D部会『五歳児研究』(俯) C1
- ・発達理論、D1・発達の理解
- 来年七月には県立設立六十周年記念大会をパシフィコ横浜・国立大ホールで五千人の先生を集めて行なう予定です。研究部ではこの大会を好機として研究・研修の重要性をさらに発信していきたいと考えています。(神奈川県私立幼稚園連合会研究部長、川崎市・宮前幼稚園/亀ヶ谷忠宏)

去る、八月二十四日、二十一世紀を担う子どもたちが、「すこやかに、心豊かに、たくましく」成長することを願い、岡山県私立幼稚園連盟と岡山県私立幼稚園PTA連合会の共催で岡山県私立幼稚園振興大会を開催しました。初めての試みでしたが県立幼三十四園の熱い思いが各方面に発信できたと自負しています。

岡山市の中心地である岡山シンフォニーホールで二千八百人の保護者、教職員が参加し、県知事、地元選出の国会議員、県議会議員など多くのご来賓の出席をいただき、大会宣言を採択し、記念講演としてノートルダム清心学園理事長の渡辺和子先生が、「現代の忘れ物」と題して、今、私たちが見失っている大切なことをお話くださり、参加者の心を魅了しました。

本県の私学助成は、その時々的重要性等に応じ、個別的な対応を重ね

てきた結果、その仕組みが複雑化するなどの問題が生じ、新たな私学助成制度のあり方を検討するため、昨年十月に検討委員会が設置され、計七回にわたる議論が行なわれました。私学助成の根幹である経常費補助金を中心に検討し、県知事へ提言されました。本県の財政は厳しい状況であり、今後の経常費補助金の行方が危惧されます。また、本県は公立幼稚園が多く、園数の比率は十対一で、保育料の格差も大きく、私立幼稚園の経営は深刻な事態を強いられています。こういう状況の中で、この振興大会は、行政や多くの方に私学教育、幼児教育の向上と重要性、保護者の経済的負担を軽減し、教育環境の充実を図るため、公費助成の拡充を求めるよい機会が得られたと思っています。(岡山県私立幼稚園連盟副理事長、倉敷市・第二ま

こと幼稚園/山川千穂子)



県花・もも

初めての私幼振興大会

岡山県からのおたより

編集

後記

一時期、炭鉱夫

として働いていた

ゴッホに画家の道

へと転進するその

きっかけを与えたのは「壊れ物につ

き注意」という言葉だったそうで

す。着る物がなくて麻袋をまもって

いた仲間の背中にこの文字を見つ

け、衝撃を受けたことによって彼は

人生の方向転換を決意したのでそう

です◆去る九月十二日、安倍前総理

の突然の辞任に私たちは驚愕しまし

た。当然の如くさまざまな非難が各

界から吹き出しました。宜なるかな

と思います。しかし、私が心中心し

じみ思ったことは「そうだ、この人

も壊れ物だったのだ」ということで

した。まだ若いこの方のご快方と捲

土重来を祈念したい。わが全日私幼

連の三浦貞子会長をはじめ三人の副

会長の先生方が担っていただくさる

仕事も心労の多いものです。心身と

もなる健康に十分ご留意を、と願っ

ています◆今号の「視点」で阿藤誠

教授は、今わが国が苦慮している少

子化の問題について、新しい角度か

らの原因の解明と対応策を示してお

られます。ぜひご精読を!

(調査広報委員・宮田誉夫)

11月は、児童虐待防止推進月間です

厚生労働省

厚生労働省は、十一月を「児童虐待防止推進月間」と位置づけ、

関係省庁、関係団体の協力のもと、児童虐待問題に対する社会的関心の喚起を図っています。期間中

には児童虐待防止のための広報・啓発活動、オレンジリボン・キャンペーンの推進、フォーラム、シ

ンポジウム等の開催などの取組を集中的に実施します。

その取組の一環として十一月十日・十一日の両日、熊本市におい

て「子どもの虐待防止推進全国フォーラム in くまもと」が開催され

ます。詳しくは厚生労働省のホームページをご覧ください。

「生きる力」を育てる保育

【いのち・かかわり・まなび】

3冊セット・ケース入り

A5判・各巻92ページ

定価2,900円(税込み)

柴崎正行・青木久子・

岩崎婉子・平山許江共著

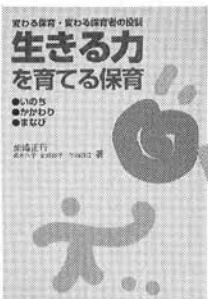
変わる保育・変わる保育者の役割

生きる力を育てる保育

新時代の保育者のバイブル!

- ★事例が具体的だから読みやすい!
- ★Q&A形式で理解しやすい!
- ★さらに詳しい情報も満載!

【いのち・かかわり・まなび】
3冊セット・ケース入り
A5判・各巻92ページ
定価2,900円(税込み)
柴崎正行・青木久子・
岩崎婉子・平山許江共著



新・教育要領
に対応!



世界文化社

〒102-8187 東京都千代田区九段北4-2-29

☎03-3262-5128 (営業部)

幼児期から
児童期への教育



新刊! 幼児期から児童期への教育

国立教育政策研究所
教育課程研究センター/編
A5判 定価 本体600円(税別)

幼稚園及び保育所と小学校との連携を深めるために、国立教育政策研究所が研究を進め、具体的な実践事例を中心にわかりやすくまとめた指導資料集。

幼稚園における
道徳性の芽生えを
培うための事例集



幼稚園における道徳性の芽生えを培うための事例集

文部科学省/編
A5判 定価 本体130円(税別)

乳幼児期における道徳性の発達について、配慮することの基本的な考え方や指導計画作成の手がかり、幼児の姿と教師の関わりなどについて述べた書。

☆ひかりのくに株式会社

本社/〒543-0001 大阪市天王寺区上本町3-2 TEL.06-6768-1151 代表
支社/〒175-0082 東京都板橋区高島平6-1-1 TEL.03-3979-3111 代表